

入試情報

| 入 試 日 | 願 書 提 出 | 合 格 発 表 | 内 申 点 計 算 方 法 |
|---|---|---------------------------------------|---|
| <p>■推薦入試: 2/9(火)</p> <p>■一般入試: 3/9(水)~10(木)</p> | <p>推薦: 1/22(金) ~29(金)</p> <p>一般: 2/18(木) ~24(水)</p> | <p>推薦: 2/16(火)</p> <p>一般: 3/18(金)</p> | <p>1年生: 5段階評定×9教科 45点</p> <p>2年生: 5段階評定×9教科 45点</p> <p>3年生: 5段階評定×9教科 45点</p> <p>135点満点</p> |

教育のプロ
トライさん



傾向

- 高校別に設定された基準内申点を満たした場合、学力検査の得点順に合否が決まる。この合格者の割合は各校で約7割である。
- 残りの約3割の枠は、内申点と学力検査との合計点によって合否判定がなされる。
- 学力検査は1教科50点の250点満点。基礎問題と応用問題の配点差が小さいため、基礎問題を確実に得点したい。
- 近年、合格者の平均点が上がっている。特に、各地域の第2上位層の高校において平均点が上がっている。
- 昨年度の学力検査の全教科平均点は、28.1点であった。

科目別対策

英 語

大問は全部で5問。英語のポイントは「リスニング」と「対話文読解」です。リスニングはCDで練習できるので、何度も繰り返し練習し傾向に慣れること。5W1Hに関連する内容を聞き取るように意識しよう。対話文は感情の変化やその理由を問う設問が多い。どの発言がだれの発言かを整理しながら読もう。単語や熟語は、中学1、2年で履修するものが80%を占めるので、復習を忘れずに。

数 学

大問は全部で5問。昨年度の平均点は27.6点であり、近年上昇傾向にある。そのため、序盤の四則計算でのケアレスミスは避けたい。大問2では、連立方程式やグラフ、空間図形など広範囲の単元から出題される。基本的知識を使って解ける問題が中心である。大問3~5については志望校によって優先的に解くべき問題が異なる。過去問演習で時間配分の練習もしておこう。

国 語

大問は全部で5問。別途作文が出題される。説明的文章が2題と古典が1題出題され、制限時間は45分である。そのため、文章を正確に、かつ速く読むことが求められる。練習を積み、本番では見直す余裕を持ちたい。また、50点満点のうち8点を漢字問題が占める。誤字で減点されないよう注意しよう。作文は、昨年400字の記述を求められた。段落や起承転結を意識して記述しよう。

理 科

大問は全部で5問。化学、地学、物理、生物の各分野から1題ずつ出題され、大問5は小問集合である。昨年度の平均点は、28.7点と他の教科に比べて高得点であった。化学では、状態変化や中和・イオンなどが頻出である。地学では、天気や天体の運動がよく出題される。また、物理では、光や仕事率など、作図を含めて出題される分野に注意したい。用語は、実験・観察の手順や考察をまとめながら覚えよう。

社 会

大問は全部で6問。昨年度の平均点は25.7点であった。制限時間の中で、資料を活用した問題を速く確実に解くことがポイント。また、歴史では出来事を年代順に並び変える問題は頻出で、大きな歴史の流れを把握することが大切。語句を単純に記憶するだけでなく、前後の出来事と関連付けて記憶するようにしたい。時事問題の対策に、新聞やニュースを見て、自分の意見をまとめる練習をしよう。